

ほけんだより



ご入園・ご進級おめでとうございます

色とりどりの花があちこちで咲き誇り、日ごとに春の暖かさが増しています。可愛い新入園児を迎え新年度がスタートしました。初めて園生活を経験する子ども達や保護者の皆様もハラハラドキドキ、期待と不安でいっぱいの毎日だと思います。子ども達が元気いっぱい、楽しい生活が送れるようサポートしていきたいと思います。心配な事がありましたら、気軽に声をかけて下さい。1年間よろしく願い致します。

新年度は、新しい先生や新しい教室、新しいお友達も増え、新入園児だけでなく進級した子ども達にとっても、環境が大きく変わり緊張の連続です。子ども達も疲れやすくなっていますので、ご家庭ではゆっくり休養出来るよう心掛けてあげて下さい。

昨年度の感染症情報



手足口病・ヘルパンギーナ 54名

※保育園で流行する代表的な夏風邪の1つです。どちらも原因は同じウイルスで手足や口の中、喉等に水疱が出来る病気です。7月下旬～11月下旬にかけて乳児クラスを中心に流行しました。症状は軽いものの、複数回罹患する子が多かったです。

感染性胃腸炎 22名

※年間を通じぼつぼつと罹患者はいましたが、特に全国的に流行していた2月～3月に掛けて園内でも罹患者が多かったです。感染性胃腸炎の原因となるウイルスは、アルコール消毒に耐性をもっている事が多い為、排泄後や食前の丁寧な手洗いが大切です。

インフルエンザ(A型) 14名

※冬に保育園で流行する代表的な病気の1つです。全国的な流行期に合わせて12月中旬～1月下旬にぼつぼつと罹患者が発生しましたが大きな流行には至らず収束しました。

伝染性紅斑(りんご病) 23名

※伝染性紅斑(りんご病)は、風邪のような症状が出た1週間程度後に両頬や四肢に網目状の発赤が出る病気です。子どもは、重症化する事の少ない病気ですが、妊婦が罹患すると、流産や胎児水腫を引き起こす事のある要注意の病気です。昨年度は6年ぶりの流行年となり、園内でも7月～10月と長く流行が続きました。

～保健の行事～

検便検査 4月15日(火)朝10時提出締切

(検査容器は10日(木)に配布します)

※詳細は、各クラスに掲示された手紙をご参照下さい。



春の健康診断 4月17日(木)午前11時～

園医の岩崎先生(十条こどもクリニック)による健康診断を上記の通り行います。

健康診断では、発育状態や治療を要する病気に罹っていないか等、一人一人の身体の様子を診ていただきます。園医に相談したい事や気になっている事等がありましたら、事前に担任、または看護師までお知らせ下さい。また、当日欠席予定の方は、事前にご連絡下さい。当日は、健診の進行状況により幼児クラスの午睡時間が短くなる可能性があります。帰宅後は早目に就寝出来るようご協力お願い致します。

※検便検査や健康診断は、子どもたちの健康を守る為、法律に基づいて実施するものです。ご理解・ご協力お願いします。健康診断と検便検査の結果につきましては、後日お知らせします。

※お医者さんを見ただけで、怖がる子もいます。ご家庭で、健康診断がある事や健康診断では痛い事はしないので怖がらなくていい事を話してあげて下さい。

～次のような時は連絡をさせていただきます～

●嘔吐した時 ●高熱が出た時(38℃を目安に) ●伝染性の病気が疑われる時

●怪我をして受診が必要な時 ●普段と様子が違う時 ●その他確認が必要な時

毎朝お子様の様子を観察少しでも変化があるようであれば登園時にお伝え下さい。また、緊急時に必ず連絡がつくよう外出や研修等で当日の連絡先が変更になる場合は、必ずお知らせ下さい。

一度体調を崩すといくら薬を飲んでいても、安静にしていなければ、回復に時間がかかってしまいます。無理な登園は控え、体調の悪い時は出来るだけ自宅での療養をお願いします。

令和7年4月1日



目の基保育園